FUJIElectric MONITOUCH

V-SFT Ver. 6.1.6.0 バージョンアップ情報

		V9	TS2060i/TS2060	V8i(N)/V8(N)	X1	
	本体プログラム	Ver. 2.600	Ver. 2.390	Ver. 2.390	Ver. 1.300 *2	
	OS	Ver. 4.40 *1				
	^{*1} アップデートす	- るには、ストレージが必要で	ेंगे.			
	^{*2} X1のアップデー	トプログラムはホームページ	ジからダウンロードしてください。 アッフ	『デート手順は同梱の『アッ	y プデート手順書』を参照	2
			接続			
1	接続可能型式追加	1: 三菱電機 FX5	U/5UCシリーズ FX5UJシ	リーズ対応		
	対応機種: V9/TS2060 接続機種: 三菱電機	Di/TS2060/V8i(N)/V8(N) FX5U/5UCシリーズ(Ethei	rnet)			
_		FX50/50Cシリース				
2	接続可能型式追加 対応機種: \/9/TS206(: ジエイテクト	TOYOPUC-Nano(Ethernet)) TOYOPUC-Na	no 10GX对心	
	接続機種: ジェイテク	ト TOYOPUC-Nano(Ethe	ernet)			
3	接続可能機種追加	I:アズビル NX((CPL)(Ethernet TCP/IP)			
	対応機種: V9/TS2060i/V8i(N)、X1 接続機種: アズビル NX(CPL)(Ethernet TCP/IP)					
4	↓ 接続可能機種追加 : 神港テクノス PCB1シリーズ					
	対応機種: V9/TS2060 接続機種・ 袖港テクノ	Di/TS2060/V8i(N)/V8(N))、X1			
5	接続可能機種追加	、 ・ 油港 テクノフ	1IB-301-Mミループ			
5	対応機種: V9/TS2060	Di/TS2060/V8i(N)/V8(N)), X1			
	接続機種:神港テクノ	ス JIR-301-M Series				
6	接続可能機種追加	: 神港テクノス	BCx2シリーズ			
	対応機種: V9/TS2060i/TS2060/V8i(N)/V8(N)、X1 接続機種: 神港テクノス BCx2 Series					
7	接続機種仕様拡張	: 日立製作所 H	IDIC-S10/ABS マルチ	リンク2(Ethernet)対応	
	対応機種: V9 接続機種: 日立製作所	HIDIC-S10/ABS				
	機能					



【概要】

[システム設定] → [アラームサーバ] → [アラームデバイス] → [パラメータ] にて、アラーム1点につき、最大32個のパラメータが登録できます。

		機能
3	PDFビューア 仕様拡張 ^{対応機種} : V9	* 詳しくは『V9リファレンスマニュアル2』参照
	【概要】 スイッチ/PLC指令において、PDFの格納先が指定可能です。 また、ファイルタのデバイスやまたできるため	例:PLC指令の場合 PDFビューア設定 ×
	コーザの運用に合わせた使い方ができます。	□ PDFビューアを使用する
	【設定箇所】 スイッチの場合 スイッチグ(マログ)、「***** PDFLi= マキニ】	
	スイッチダイアロク→ [機能:PDFCユーア表示] PLC指令の場合	ページ指定デバイス D00101 ファイル指定方法 ○ファイルNo. No. ◎ ◆ /99999 [PDF00000pdf] デバイス指定
	[システム設定] → [その他] → [PDFビューア設定]	 ○ デパイス □ファイル名を指定 PLC1 > 0 ≑ D > 00200
	【補足】 PDFビューア上の「開く」/「オプション」スイッチ を無効にできます。	~ D00231 ✓ バスを指定する バス指定方法
	ビューア上の不要なスイッチを隠すことで、 ユーザの誤操作防止につながります。	情報出カデバイス 内部 ↓ 0 ↓ \$u ↓ 16520 ↓ ① ページNo出カデバイス \$u16521 ①
	A Service of the stream of the stream of the stream of the stream of the stream. A Service of the stream of the stream of the stream. A Service of the stream of the stream of the stream of the stream. A Service of the stream of the strea	□ RUN中はPDFフォルダのみアクセス可能とする □ ファイルが存在しない場合、エラーメッセージを表示しない □ IT開くJスイッチ発止 □ 「オブションJスイッチ発止 0K キャンセル
	「オプション」スイッチ 「開く」スイッチ	
4	マクロコマンド IF(MULTI) の仕様拡張	

対応機種: V9、X1

【概要】

マクロコマンド IF (MULTI) の条件を2→4に拡張しました。 また、 IF (MULTI) のマクロ内に再条件分岐マクロコマンド IFELSE (MULTI) も使用できるようになり、複数条件にわたる煩雑な処理も各々1行で 済みます。 赤文字:NEW! 例:再条件分岐 IFELSE (MULTI)

IF((条件① AND/OR 条件②)AND/OR 条件③)AND/OR 条件④ THEN			マクロ編集サポート		
(1) IFELSE((条件a AND/OR 条件b)AND/OR 条件c)AND/OF (2)	R 条件d THEN 各々最大4つまで条件指定可	すべてを IF(MULT IF(TST) IF(TST) LABEL LD RECI LD RECI LD RECI	表示 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 FELSE(比較式1) 式2) AND/OR (比 比較式4) 1 THEN 各比較式と論理) 世の判定結果が点 以下の処理、物点 以下の処理、気にまた+14 	[AND/OR(比較 較式3)AND/OR(算子の組み合わ らば「ELSE」」 らば「ELSE」以下 す(※) コミヒティの地理」+
ENDIF			F0	省略可能です	F1
【使用例】 IF <u>(\$u100 >= 100)</u> OR <u>(\$u200 < 20)</u> AND <u>(\$M0 >= 0)</u> AND ^{条件①} 条件③ 条件③	<u>(\$M0 < 10)</u> THEN (W) 条件④	上華文王、1	OR F2 \$u00200 OR		F3 100
\$u200 = \$u200 + 1 (W) IFELSE(\$u100 <= 0) OR (\$u200 > 100) OR (\$u300 == 0)	OR (\$u400 != 100) THEN (W	上較式3 ()	F4 \$u00300	== ~	F5 0
$\frac{2}{8}$ (4)	、、 <u>(+u too; 1007</u> (… 条件d	比較式4	F6 \$u00400	!= ~	F7 <u>100</u>
ENDIF					
\$u100が100以上(条件①)または\$u200が20未満(条件②)かつ\$M0が0以上(条件③)10未満(条件④)の場合、					

\$u200を1インクリメントします。 上記条件①~④が不成立で、\$u100が0以下(条件a)または\$u200が100より大きい(条件b)または\$u300 が0(条件c)または \$u400 が100以外(条件d)の場合、\$u100を1インクリメントします。

5 マルチディスプレイ 2分割表示

対応機種: X1

【概要】

X1上にX1アプリを2つ起動し、画面を左右(横置き)または上下(縦置き)に2画面表示させ、それぞれ独立して画面表示/操作が可能です。 スペースを取らず、さらにコスト削減にもつながります。 縦置きも可能!

機能



【設定箇所】

[システム設定]の[その他]→[マルチディスプレイ設定]または[ハードウェア設定]→[マルチディスプレイ]→[2分割表示する]にチェック

マルチディスプレイ設定		× * [編集機種選	[択] → [サイズ]
基本設定 内部デバイス共有設定		半分になりま	ます。
 □表示画面を拡張する ☑ 2分割表示する ○同:画面テータを使用する 		編集機種選択 編集機種 [X115	×
 ● 具なる細面データを使用する 編集画面 ● メイン ○ サゴ ① メインの向き 検査き <td>A B</td><td>atom / /法 構成さ サイズ 960 × 1080 (2分割 /)フー</td><td>〜 表示) 〜</td>	A B	atom / /法 構成さ サイズ 960 × 1080 (2分割 /)フー	〜 表示) 〜
制時デバイス 内部 0 【情報出力デバイス 内部 0	> \$u ∨ 18900 ⇒ \$u ∨ 18910 ⇒	82 K色フリンショー オゴションユニット	~
	OK ++/	<u></u>	キャンセル

* 詳しくは『X1リファレンスマニュアル2』15 マルチディスプレイ参照

【補足】

ローカル画面で、マルチディスプレイの設定状況や外部ディスプレイ使用時の接続状態が確認できます。

・ [システム情報]	→[画面データ情報]	・ [I/Oチェック] → [タッチスイッチ/メディア]				
	システム情報	I/0チェック				
RUN	本体情報 画面データ情報 ドライバ情報 ハ	SRAM設定 タッチスイッチ/メディア ネットワ				
		タッチスイッチ				
システム情報	表示カラー : 32K色ブリンク可	通信設定 テスト				
<u></u>	コメント :	USBストレージ接続状態 Wドライブ:接続中				
言語設定	マルチディスプレイ設定 2分割表示する	Sys. Config 起動 Xドライブ:未接続				
	サブ画面(メインと異なる画面データ)	システムメニ HDMIケーブルの状態が確認可能!				
I AN ED 定 マルチディスプレイの使用状況やメイン画面、サブ画面の判断が可能!		表示				
		シミュレータ 設定 ディスプレイ : 接続中				
		Ø '				

			機能			
6	アプリケーション起動 表 ^{対応機種} : X1	示位置/ウィンドウサイ	ズ指定と2分割表示(ユーザアプ	リ専用領域	或)
	■表示位置/ウィンドウサ- 【概要】 ユーザアプリケーションの表示位置 X1の画面レイアウトにあった表示 スイッチ機能とPLC指令の両方で可	イズ指定 動、ウィンドウサイズを指定でき 立置、サイズで運用できます。 能です。	(0, 0) 例: X115 ます。			- 表示位置 始点X,Y(500, 250) - ウィンドウサイズ 幅、高さ(1420, 830)
	【設定箇所】 スイッチの場合 スイッチダイアログ→[機能:アフ →[表示位置指定]、[ウィンドウ	プリケーション起動] ウサイズ指定]		2175 297/L 297/L 297/L 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	総 業準 フード演算 語の現 にレージの断 パレージの断 パレージの新	~ □全て表示
	PLC指令の場合 [システム設定] → [その他] → [アプリケーション起動] → [表示位置指定]、 [ウィンドウサイズ指定]	アブリケーション起動設定 「割御デバイス」 PLC1 0 * 10 「デバイスで指定 アブリケーションパス CXProgram Files (x80) パラメータ CXUserDataWmanualpdf 「デデバイスで指定 始点ズ [500 * 「デバイスで指定 始点ズ [500 * 「テバイスで指定 1 * 「デバイスで指定 1 *	✓ 00000000 () () () () () () () () () () () () ()	文字属性 出力デバイス 機能 マクロ デイレイ 表示・非表示 細かい設定 その他の設定 マ	(4) テラび発告 - 100 - ションを起動し スクー 軽美示 ・100 - ションを起動し、 ・100 - ションを起動し、 ・100 - ションパス 区 ラメータ (3) 多重起動を禁止する 表示位置指定 ロテいイスで指定 ロテいイスで指定 になったのサイズ指定 になったのイル (1) - アいイスで指定	をす。 Eます。 AUserData¥samplexlsx 始点点× 960 ・ 始点点V 0 ・ 幅 960 ・ 高さ 1080 ・ 1 ・ sec

■2分割表示(ユーザアプリ専用領域)

【概要】

X1上で片側半分をX1アプリ、残り半分をユーザアプリ専用領域として使用できます。 上位サーバの生産管理情報をExcelやデータベースなどで常時表示しておきたい場合に、X1の画面を隠すことなく、表示/操作が可能です。 今回対応したアプリケーション起動の表示位置/ウィンドウサイズ指定と一緒に使います。



* 詳しくは『X1リファレンスマニュアル2』8.4 アプリケーション起動参照



* 詳しくは『X1リファレンスマニュアル2』 8.7 タスク一覧/スクリーンキーボード表示 参照

5ページ

機能 9 ライトフィルタ適用範囲の拡張 対応機種: X1 【概要】 ライトフィルタの適用範囲に「全体」が追加されました。内蔵ストレージ全てが書き込み禁止となり、 外部からの不正な書き込みを防止します。 なお、従来のライトフィルタ適用範囲は「システム領域のみ」(デフォルト)となります。 ライトフィルタ設定 【設定箇所】 System Configurator→ [各種設定] → [ライトフィルタ設定] → [高度な設定] → [フィルタ範囲の設定] 5 フィルタ適用範囲 全体 自動的に再起動します。 -*「全体」選択時、ローカル画面下に以下のメッセージが表示されます。 2 通信設定 Sys t Sys. Config 起動 Warning: 現在のライトフィルタの範囲設定が「全体」のため、画面データおよびローカル画面での変更は、電源断にて変更前の状態に戻ります。 * 詳しくは『X1ハード仕様書』参照。

1 Microsoft Windows 11対応 【概要】

Microsoft Windows 11に対応しました。

2 タグ編集ダイアログ タグ名の一括変更

【概要】

タグ編集ダイアログ→ [置換] を使って登録したタグ名を一括変更できます。

【接続機種】	タグ編集		×
オムロン	PLC1 v 局番 0 🔹	☑ 9岁名	
・NJ シリーズ(EtherNet/IP)		☆索 ジデータ型	
BECKHOFF	0		表示順指定なし
・タグ ADS プロトコル(Ethernet)	タグ名	データ型	コメント
	Application.PLC_PRG.TAG_BOOL	BOOL	
	Application.PLC_PRG.TAG_BYTE	BYTE	
Allen-Bradllev	Application.PLC_PRG.TAG_DINT	DINT 置換	X
Controll a site (Conservation of A)	Application.PLC_PRG.IAG_DWURD	DWURD	
・ControiLogix/CompactLogix タク	Application.PLC_PRG.IAG_INI		する文字列
・Controll ogix/CompactLogix タグ(Ethernet TCP/IP)	Application.FLC_FRG.TAC_SINT	SINT	
Miere 200 Controllors クグ	Application PLC PRG TAG STRING	STRING 置換	後の文字列
・ Microsou Controllers タク	Application, PLC PRC, TAG UDINT	UDINT	
・Micro800 Controllers タグ(Ethernet TCP/IP)	Application.PLC PRG.TAG UINT	UINT	しん キャンセル
	Application.PLC_PRG.TAG_USINT	USINT	
	Application.PLC_PRG.TAG_WORD	WORD	
3S-Smart SoftwareSolutions			
CODECVE V/2(Ethorpot)	インボート iBtn		0K ±5°/t211
· CODESTS V3(Ethernet)	124° I Xexu	IT WAS DELT	A 145 270

エディタ

3 シンボル SiemensのPLCソフトTIA Portal Ver. 17対応

Siemens のソフトTIA Portal Ver. 17で作成したTIA プロジェクトファイル(*.ap17)をシンボルにインボート可能です。

4 ファイル比較 比較先画面の直接編集

【概要】

比較結果の[詳細]ウィンドウから比較先画面データを開いて、直接不一致箇所の編集、保存ができます。 保存後、簡単に再ファイル比較も行えるため、不一致箇所の特定から編集、保存までがスムーズに行えます。

【操作方法】 ファイル比較後、比較ウィンドウの不一致箇所をダブルクリック		ファイル比較時、 [テキストで比較する] の
アナル比較 7アイル比較 7アイル比較 - [TEST.V9]	– 🗆 X	チェックが必要です。
	294ル ~ ① 第2744比較 再2746比較	
* ■ DrAlker × ■ ○ 3. 277.46% ■ ○ 3. 277.46% ■ ○ 3. 279-211 ■ ○ 3. 279-212 ■ ○ 3. 279-	再ファイル比較	
ファイル比較 (詳細)	- 🗆 X	
	4 b H	
スクリーン[0]		比較先:スクリーン[0] (MENU) - [TEST. V9] - ロ ×
上検索 下検索 CSV	🈕 ファイル ホーム パーツ 編集	表示 画面設定 転送 システム設定 ツール ヘルプ スタイル 🔹 🔂
比較元 比較元 設定なし 設定なし 設定なし ひたなし ローカルファンクションスイッチ使用しない たげーゴリークローレック /ョンスイッチ使用しない	○ 開く 「見上書を保存 「規作成 及名前を付けて保存 7.2.701/2	たビュー ウケントや9年10日 ストレージ マネージャ ファイル比較 新規作成 ストレージ ファイル比較 新規作成 ファイルと数 アストレージ ファイル上数 アストレージ ファイルーン アストレージ ファイルーン アストレージ ファイルーン アストレージ ファイルーン アストレージ ファイルーン アストレージ ファイルーン アストレージ ファイルーン アストレージ ファイルーン アストレージ アストージ アストレージ アストー アストレージ アストー アストー アストー アストー ア アストー ア ア アストー ア アストー ア アストー ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア
デレンド値 : 265 · ランバレン・ジッン : 255	↓ □ ファイル比較 □ 比較先:スクリーン[0]	(MENU) ×
[1987] 定信(10), 53)→(634, 123) [1987] 定信(10), 55)→(632, 123) フレーム・(あちいくハウト) フレーム・(あちいへハ) カラー : RGB(255, 255, 255) カラー : RGB(255, 255, 255) 背景色 : RGB(255, 255, 255) 音景色 : RGB(255, 255, 255)		画面の編集・保存
* 詳しくは『V9オペレーションマニュアル』参照		MONITOUCH

5 V-SFTのタイトルバー 画面データファイル名を先頭に表示

【概要】

V-SFTのタイトルバーに表示する情報で、画面データのファイル名を先頭に表示します。現在編集中のファイル名が確認しやすくなります。

エディタ

【設定方法】

[]			
例	: 以下の設定の場合		ファイル名は先頭に移動
	プロパティ		
	ファイル情報 PLC情報 環境 編集 転送	[sa	・mple.V9] - スクリーン[0] (MENU)
	- タイトル	ファイル ホーム パーツ 編集 表示 画面設定 転送 シ	バテム設定 ツール ヘルプ
	☑ファイルのパスを表示		

☑画面データ名を先頭に表示

* 詳しくは『V9オペレーションマニュアル』参照

6 プロジェクトビュー 操作性向上

【概要】

プロジェクトビュー上部のメニューが右クリックメニューからも 選択できます。



7 マルチディスプレイ 画面データ読み出し時の仕様改善

対応機種: X1

【概要】

X1から画面データ読み出し時、マルチディスプレイの画面データが転送されている場合*は、読み込む画面データの選択ができます。

